

核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界をめざして 「2012ピースアクションinTOKYO」 &「ピースパレード」

開催報告

「核兵器廃絶と戦争のない平和な世界をめざして」、今年も東京から世界へ向けて平和への思いと核兵器廃絶を訴える、ピースアクションinTOKYO&ピースパレードを開催しました。会場は満席に近く、お子さん連れの若い方たちの姿も目立ちました。

ウィメンズプラザでの午前の部は東友会の村田さんの司会で開会。ピースコンサートで幕開けしました。

開催日時：5月21日（月）10：00～12：40

開催場所：東京ウィメンズプラザ&パレット渋谷

参加人数：7生協、2団体 217名

主催：東京都原爆被害者団体協議会（東友会）

特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟

東京都生協連平和活動担当者連絡会

協賛：日本生協連

ピースコンサート



『アンサンブル奏』によるピースコンサートはピアノとフルート、オーボエの演奏。柔らかなピアノの連弾と軽やかなフルートとオーボエの音色が会場に広がり参加者を惹きつけました。題名は知らなくても、聞いたことのあるあの曲、というクラシックの3曲が披露され、会場はゆったりとした雰囲気になりました。音楽を楽しめるひとときが平和への思いにつながったコンサートでした。

主催者挨拶



東京都生協連理事
コープとうきょう理事
小浦道子さん

東日本大震災の被災者の方々はまだ大変な思いをしておられます。福島原発事故により、私たちは放射能の怖さを改めて実感しました。原発問題も核廃絶もつながるものがあります。コープとうきょうでは東京の各自治体に平和市長会議への加盟の呼びかけを行っています。また、「ヒロシマ・ナガサキ『原爆と人間』」パネルを学校等に贈呈する活動も始めています。若い世代に核の恐ろしさを知らせ、平和について考えてもらいたいと思います。平和の活動はNPT再検討会議などひと時の盛り上がりではなく、毎年各団体の地道な活動が大切です。一つの団体だけでなくここに集まったみんなで協力しあうことで核兵器廃絶の思いをつないでいきましょう。

『ヒロシマ・ナガサキ』を語りつぐ ～パネル「原爆と人間展」～

今年の「語り継ぐ」は日本原水爆被害者団体協議会が3月に新しく作成したパネルをその映像と朗読で構成しました。ヒロシマ、ナガサキだけでなく、その後起こった核の厄禍も、証言や詩も交えて語られました。淡々とした言葉がいつそう起こったことの恐ろしさを伝えていました。朗読は生協から、パルシステム東京の小山志保子さん、東京南部生協の淡島明子さん、東都生協の若林千津子さん、コープとうきょうの高橋千博さんが担当しました。



広島市長、長崎市長からのメッセージ

松井一寛広島市長、田上富久長崎市長からのメッセージが、広島市東京事務所の滝川卓男さん、長崎市東京事務所の徳満伸一郎さんより伝えられました。両市の核廃絶へのさらなる決意とピースアクションへの期待が表明されました。



広島市長、長崎市長のメッセージを代読する 滝川氏(左)と徳満氏(右)

参加団体リレートーク



東京地婦連、パルシステム東京、東京南部生協、東友会、大学生協、東都生協、コープとうきょう(写真左から)の7団体が、日頃の平和活動の紹介や今後の取り組みについて発表しました。

各団体の日頃の活動を共有し合い、理解を深めることができました。また、普段は知ることの少ない大学生協の活動を聞いて、若い世代の真摯な取り組みをととても心強く思いました。

<核兵器廃絶に向けたアピール>

午前の部の最後に集会アピールを東京地婦連の宮原恵子さんが朗読し、拍手で採択されました



アピールする宮原さんと応える会場

ピースパレード



学生も被爆者の方もともに語らいながら



幟、小旗、横断幕、うちわや風船帽子などアピールもスタイルもさまざまに。

3年ぶりに行われたピースパレードは雲の切れ間から時折陽射しの差し込む中、神宮通り公園までの道のりを宣伝カーの平和アピールとともに歩きました。各団体が入り混じり、さまざまなパフォーマンスもしながら笑顔で呼びかけ、参加者もパレードを楽しみました。今回も全労済東京都本部より寄せられた花の種を配って沿道の方たちに核兵器廃絶を訴えました。

到着した神宮通り公園で参加者全員での記念撮影。お疲れさまでした！

